

哺乳状況による検査の可否について

新生児マススクリーニングの採血ろ紙に哺乳状況について「良」「不良」「殆ど哺乳不能」を記載していただいております。これは検査の対象疾患のうち、代謝異常症の判定に関わる項目となります。

アミノ酸代謝異常症では体内に取り込まれた母乳やミルクの成分のうち、ある特定のアミノ酸を代謝できないことで症状が現れます。哺乳が殆どできていない状態では原因となる物質がない状態ですので病気であるかどうか判断できないこととなります。重症の場合では少量の哺乳でも発症して気づく場合もありますが、軽症例などは見逃されてしまうこととなります。一方で、脂肪酸代謝異常症では飢餓状態におけるエネルギー産生の過程に問題があるために、哺乳が進んでいない状況の方が病気を見つけやすくなります。

いずれにしても、採血時点における哺乳状況を正しく把握することは、マススクリーニング検査の判定に重要となりますので、記載漏れのないようご確認をお願いいたします。

以下に哺乳量と哺乳開始からの経過時間による哺乳状況の判断の目安を示しました。哺乳量が 100mL/kg/day 以上で 24 時間経過している、もしくは哺乳量が 50mL/kg/day 程度でも 72 時間経過している場合に検査可能と判断しています。

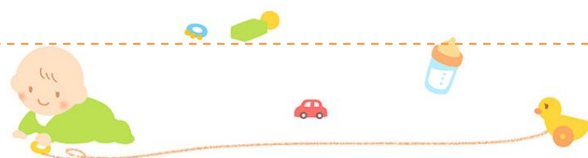
なお、赤ちゃんの状態によっては経鼻栄養されていたり、アミノ酸や糖水の点滴をされている場合もあるかと思えます。自力で哺乳できない赤ちゃんについては、経腸的に母乳やミルクの成分が摂れているかどうかで判断してください。

	新生児スクリーニング採血ろ紙		初回採血	再採血 (回目)
	医療機関コード			
	医療機関名			
	フリガナ 母氏名			
	フリガナ 児氏名	男・女 不明	在胎週数	週
	出生日	年 月 日	出生体重	g
	哺乳開始日	年 月 日	採血時体重	g
	採血日	年 月 日	抗生剤使用	有・無
	哺乳	1. 良	2. 不良	3. 殆ど哺乳不能
	結果	結 止 常		再採血必要 精密検査必要

検査可能な検体の目安

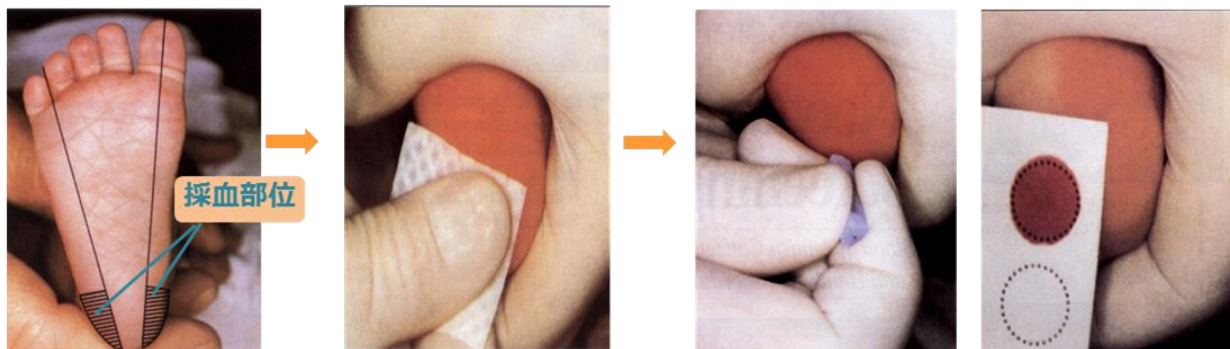
哺乳状況		哺乳開始からの経過時間	検査可能か	
1	良	100mL/kg/day以上	24時間	哺乳開始日翌日以降採血でOK
2	不良	50mL/kg/day程度	72時間	哺乳開始日翌々日以降採血でOK
3	殆ど不能	-	-	不備検体として要再採血

初回の採血のタイミングは哺乳状況に関わらず日齢 4~6 日としてください。哺乳量不足により検体不備と判断された場合には、十分に哺乳ができるようになってから再度採血をお願いいたします。



採取した血液のろ紙への染み込ませ方について

ろ紙への血液の染み込ませ方については適切な検体がほとんどですが、一部血液が裏まで十分に染み込んでいないものや重ね付けされている場合があります。病気の見逃しや再採血が必要になるなど、正確な検査ができなかったり赤ちゃんに負担をかけてしまうことがありますので、以下の写真を参考にさせていただきようお願いいたします。



採血部位をマッサージし、十分に充血させます

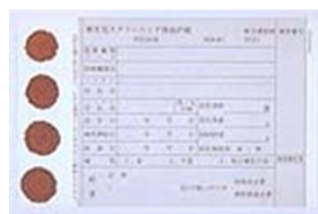
消毒

消毒綿で消毒し、乾燥させます

穿刺

片側から一回で血液スポットを1つ作るようにします
(丸印からはみ出すくらいで裏にも十分染み込むように)

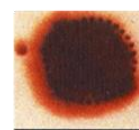
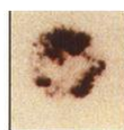
採血



良い採血例



不適当な採血例



量不足

両面付け

重ね付け

乾燥不十分

英語版及びフランス語版の申込書とパンフレットがあります！

外国の方のために英語版及びフランス語版の申込書とパンフレットをご用意しています。必要な場合には郵送させていただきます。また、以下のホームページに PDF ファイルとして載せてありますので、印刷してお使いいただくこともできます。

札幌市衛生研究所のページ(<http://www.city.sapporo.jp/eiken/>)

→病気の集団検査 (マススクリーニング)

→**新生児マススクリーニング**

⇒パンフレットと申込書

[Get English Version](#)

【お問い合わせ先】 札幌市衛生研究所保健科学課母子スクリーニング検査係
電話：841-7672 E-mail：boshi_screening@city.sapporo.jp
URL: <http://www.city.sapporo.jp/eiken/org/health/>